



「世界でいちばん古い背骨」

以前、腰を痛めて病院通いをしていた時期があります。腰痛は直立二足歩行を始めた人類にとって宿命的な病気とはいえ、大変つらい症状です。腰痛の原因のひとつは背骨のゆがみにあるようで、私もよく猫背だと指摘されます。

背骨は人間の体の中でも、とても重要な部分です。発達した重い脳を支えながら、両手を使って今日の文明を築き上げたのは、背骨のおかげです。背骨をもつ生き物のことを「脊椎(せきつい)動物」といいます。脊椎動物がどのような過程で進化したかについては研究の途上ですが、背骨をもつ生き物として現在見つかっている最古のものが「ハイコウイクチス」です。

名前は発見された中国の地名、海口(ハイコウ)と、魚を意味するイクチスに由来します。長さおよそ3cm、メダカほどの小さな魚です。化石をよく見ると眼が黒い点として残っています。さらに見ていくと、筋肉のスジが何本も走っていることがわかります。体を振って力強く泳いでいたことがうかがえます。そして、この魚の一番の特徴は背骨を持つていることです。つまり、ハイコウイクチスは脊椎動物の中でも大先輩になるわけです。こう考えて化石の前に立つと、自然と背筋が伸びる思いになります。

ハイコウイクチスの化石は、科学館3階に展示されています。愛知万博にも出展されたので、ご覧になった方も多いかもありません。当館名誉館長である中国の舒徳干(シュ・ドウガン)博士から貸与された化石のひとつですが、博士に返還することが決まっています。この広報が皆さんのお手元に届くころには、化石を展示できる期間も残り1ヵ月ほどになっていくはずです。

この機会に、世界最古の「背骨」にぜひ会いに来てください。



ハイコウイクチスの復元図。化石が発見された1999年、当館に展示された年でもあります。

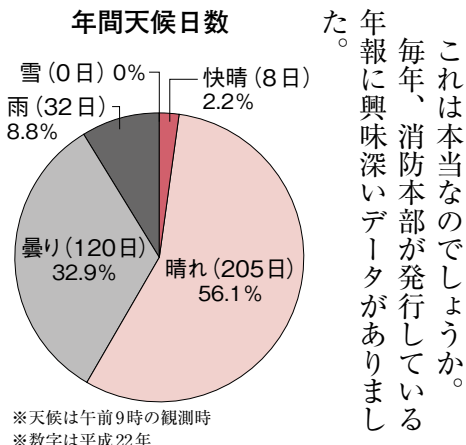
数字で見る がまごおり

～蒲郡の気候～

企画広報課 ☎66♦1145

■蒲郡の天気

蒲郡の気候が紹介されるとき、よくこんなフレーズが使われます。「2つの大きな半島に囲まれた温暖な気候の海辺の街で、冬でも雪が降ることがあっても積もることはほとんどありません。雨が降ることも少なく、雨の日は年に10%ほどです」

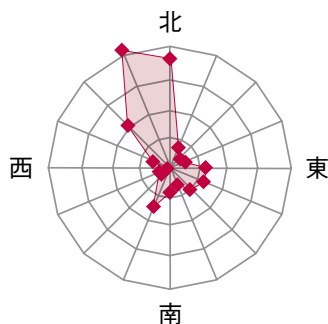


午前9時の観測データです。降雨があった日はもつとありますが、天候に恵まれた地域であるということは確かでしょう。このことは、日照時間の長さにもつながり、全国的に見ても有数の長さを誇る地域といわれています。蒲郡のブランドである温室みかんは、冬場の日照時間が重要な要素となるため、このことから適した地であったといえます。

■蒲郡の風

蒲郡の気象で欠かせないのが、風です。マリンスポーツが盛んな夏には、大勢の方がこの風を利用してヨットを楽しみます。蒲郡は、地理的な条件から北西の風が吹くことが多いのですが、夏の時期だけは南東の風になります。表が示す南東寄りの風は、主に夏場に吹いたものです。

年間風向頻度



※数字は平成23年

こうして数字で振り返ってみると、暮らすにも、レジャーにも気候に恵まれた地域であることを実感することができますね。